

原発のない暮らしを実現するために

—伊方で事故が起こると暮らしは？被害は？—

2018年

4月29日(日) 愛らんど 13:30~15:20
(今治市総合福祉センター)

福島原発事故から7年余。南海地震の発生は確実とされています。中央構造線との連動や、火山の危険性も指摘されています。

伊方原発で事故が起これば、私たちの暮らしはどうなるのでしょうか？被害はどのようなものになるのでしょうか？



今治市南宝来町 1-9-8 電話 0898-22-0426

(参加費無料。お誘い合わせて多数ご参加ください。)
カンパ歓迎

【原発被害の映像と語り】

語り手：和田宰さん(伊方原発をとめる会事務局次長)

- 報告 原発をめぐる状況
- 映像 ドキュメント「放射能とトモダチ作戦」から考える
- 映像 脱原発・再生可能エネルギーを考える
- 原発のない暮らしを求めるえひめ県民署名について
- 質疑・討論

汚染されたら農業・漁業・造船はどうなる

NNNドキュメント(昨年10月9日)は、福島原発事故の時、福島沖240km付近で放射能に襲われた米軍兵士の被ばくの実相を報じました。広島、長崎の被ばく者の症状に酷似しており、すでに9名が亡くなっています。伊方原発から約70~100kmの位置にある今治市。深刻な汚染に襲われる可能性が否定できません。

原発のない暮らしを求めるえひめ県民署名の会・今治

〒794-0065 今治市別名 551-6 大澤守 電話・FAX0898-31-8485

原発のない暮らしを求めるえひめ県民署名(県事宛署名)にとりこんでいます。お知り合いにどんどん拡げてください。署名用紙やリーフレットは左記までご連絡いただければ、お届けします。